

新宿商人

vol.29

[2023年12月号]

発行:新宿区文化観光産業部
産業振興課

☎03-3344-0701

FAX:03-3344-0221

✉shoten-rece

@city.shinjuku.lg.jp

新宿区商店会情報誌

[しんじゅくあきんど]

「特集」

にぎわう イベント のつくりかた。

“にぎわうイベント”
のカギは日々の
商店会活動にあり
医大通り音楽フェスティバル

3商店会で共同開催
街並みが
ジャズ一色に
新宿トラッドジャズフェスティバル

2023 イベント
アーカイブス



Contents

【しんじゅくあきんど】
新宿商人
vol.29

※本誌の掲載内容は令和5年12月現在のものです。

Business Column 私のリスキリング術

あたぼう鮨 藤川大輔さん

【特集】

にぎわうイベントの つくりかた。

コロナ禍が落ち着き、再び区内では商店会イベントが開催されるようになりました。イベントは商店街に人を集める効果がある一方で、マンパワーやコストなどの点で開催にハードルがあるのも事実です。そこで今号では、にぎわいを集める区内のイベント事例をご紹介します。運営の工夫や独自の企画など、にぎわう理由を掘り下げます。

Event 1

02 医大通り音楽フェスティバル 医大通り商店会

Event 2

04 新宿トラッドジャズフェスティバル 末広通り商店会、新宿要通り共栄会、新宿御苑大通り会

06 2023 イベントアーカイブス

07 今年もイルミネーションが 商店街を明るく照らします

08 新宿商人物語「つなぐ」 キッチン南国(早稲田大学南門通り商店会)

裏表紙 商店街 News
【知っておきたい今冬のトピックス】

今回のテーマ ▼ SNS運用

私の リスキリング術

ビジネスモデルの変化に対応するために、新しい知識やスキルを学ぶ「リスキリング」。実践し、成果につなげた事例を紹介します。

荒 木町にてすし屋を営む藤川大輔さんがSNS運用を始めたのは、コロナ禍で打撃を受けた経営を立て直すため。行動様式が大きく変わったことで、売上の大半だったシニア層の常連客が激減。そこで着目したのが30代を中心とした若年層だ。

「若い人に来店してもらうには、SNSを活用するしかない」と思い、専門家に相談しました」と藤川さん。SNS運用に詳しい有識者のコンサルティング費用は新宿区の経営力強化支援事業補助金を利用した。

まず取り組んだのは、主要なSNSに店のアカウントを開設し、それぞれの特徴に合わせて役割を分担させること。たとえば、画像や動画が主体のインスタグラムは、店の存在を知ってもらうための認知獲得ツールとして運用する一方、1対1のやりとりができるLINE

Eは既存客の来店頻度を高めるツールとして活用した。SNSを戦略的に使い分けることで売上はV字回復、新たなファンも獲得した。その経験を生かし、今後は通販事業にも力を入れていく考えだ。



詳しくはこちらから
発信に活用できる
補助金はこちら！
経営力強化
支援事業
補助金



専門家の知見を借りて SNSを戦略的に運用

あたぼう鮨 荒木町商店会 藤川大輔さん

Technique.3

LINE公式アカウント



来店したお客さんには声を掛け、LINEのお友達登録をすすめてみる。登録してもらくと、その場でハイボール1杯をプレゼント。これにより、1対1でつながることができるため、週に一度、必ずメッセージを送り、顧客の囲い込みを図る。

Technique.2

動画配信



上) YouTubeの「あたぼうチャンネル」。仕込みや営業風景を中心に、すし屋の日常を伝えることで、店の魅力を知ってもらい、「行ってみたい!」と興味喚起するのがねらい。右) 新宿区の経営力強化支援事業補助金を使い、動画撮影用にGo Pro (ゴープロ) を購入。

Technique.1

Instagram



藤川さんの店は深夜3時まで営業していることから、飲んだ後のめのラーメンならぬ「メ鮨」というワードを流行らせようと発信。すしの写真は反響が大きく、その甲斐あって深夜も大勢のお客さんににぎわう。

“にぎわうイベント” のカギは日々の 商店会活動にあり

Event
1

医大通り音楽フェスティバル

医大通り商店会



1 イベント当日は通りの一部を歩行者天国に。大勢の老若男女でにぎわう
2 商店会に加盟しているホテルが開いた福島マルシェ。福島産の野菜などを販売し大好評
3 商店会の面々も店を知ってもらうために屋台を出店
4 イベント開催のきっかけは、音楽関係者の知り合いが多い副会長の発案。特設ステージでは5つのバンドが演奏を披露
5 新宿警察署による交通安全教室も毎年の恒例行事
6 工学院大学も参加し、後片付けまで協力してくれたという

Event Scene

商店会加入の枠を広げ イベントを支える人材輩出

新宿三丁目駅から徒歩5分。大都会の高層ビル群の間でありながら、のんびりとした時間が流れる東京医大通り周辺。だが、年に一度、大勢の人でにぎわう日がある。それが、医大通り商店会が主催する「医大通り音楽フェスティバル」だ。毎年10月最終週の日曜日に行われ、今年で5回目を数える。コロナ禍の2020年は中止したものの、素敵な音楽と地域の安心

安全友好のイベントとして、年々参加者が増えている。

「商店街の周辺には会社や住宅地学校もありますが、商店街を通り過ぎてしまふ人が多かった。そこで、まずはにぎやかで楽しい場所をつくろうと思いました。そうすると自然と人が集まりますから」
「そうイベントの目的を話すのは、会長の梅橋嘉博さん。しかし、8年前に梅橋さんが会長を引き受けた当時、商店会のメンバーはわずか18名。大半が飲食店経営者で、商店会活動に充てられる時間も人

数も限られていた。そこで、梅橋さんは会員数の拡大に動き出す。

「飲食店に限らず、企業やホテルなど、さまざまな業種が商店会に参加してくれると多様性が生まれる。すると商店会活動の選択肢が増えるんです。また、商売上でもお互いの店やサービスを使うなどメリットがあります」
梅橋さんの働きかけにより、今は会員数が50名を超えた。平均年齢も約70歳から40歳にグッと若返り、イベントを行う上で欠かせないマンパワーが生まれた。

「多様なメンバーだからこそアイデアもたくさん生まれる。このイベントでも、会員さんのつながりからミュージシャンの方々に来ていただいたりしています」

音楽だけでなく、町会や新宿区警察、工学院大学なども連携し、老若男女が楽しめる企画が行われる同イベント。舞台設営など費用がかさむところは、新宿区の一にぎわいにあふれ環境にもやさしい商店街支援事業補助金で補う。「イベントは商店会活動やお店の魅力を知ってもらえる機会になっている。この勢いを日々の商売につなげていきたいですね」

音楽から交通安全まで さまざまな協力を得て 多彩な企画を実現



梅橋嘉博さん

2003年、東京医大通り沿いに「中国料理 歓」をオープン。2015年に商店会会長に就任。多くの人を巻き込み、協力を得ながら、商店会の活性化に取り組む。





Event
2

末広通り商店会・新宿要通り共栄会
新宿御苑大通り会

3 商店会で共同開催 街並みがジャズ一色に 新宿トラッドジャズフェスティバル

街のにぎわいを創出し トラッドジャズ文化を 未来につなげる

街にもプレイヤーにも
喜ばれる名物イベント

新宿三丁目の秋の風物詩として知られる「新宿トラッドジャズフェスティバル」。毎年11月の第2土・日曜日に末広通り商店会、新宿要通り共栄会、新宿御苑大通り会の3商店会が共同で手がける名物イベントだ。コロナ禍で3年間中止していたが、今秋、4年ぶりに開催された。

飲食店がひしめく通りのあちこちでジャズバンドが演奏し、通行人も思わず足を止める。熱心に聴き入る人もいれば、曲に合わせて手拍子を打つ人もいて、思い思いに音楽を楽しむ。その中には外国人観光客も少なくない。

「ここで演奏しているのは、モダンジャズが生まれる前の、トラディショナル・ジャズ」と呼ばれる



永谷正嗣さん、石川国由さん、矢向剛さん

末広通り商店会の石川さんと新宿要通り共栄会の矢向さんが同時期に会長に就任。「街のために何かやりたい」と意気投合し、イベントを開催することに

古いジャズです」
こう話すのは、新宿御苑大通り协会会长であり、このイベントの実行委員会事務局長を務める永谷正嗣さん。80歳を超えてなお現役のサクソフレイヤーで、トラッドジャズ界のレジエント的存在だ。実は、この永谷さんこそ、新宿トラッドジャズフェスティバルの生みの親。トラディショナル・ジャズを研究・演奏する早稲田大学のサークルの学生たちのために、演奏する場を設けてあげたいと一念発起。新宿三丁目界隈にはジャズライブハウスが多くあることから、店がオープンするまでの昼間の時間帯にステージ演奏できるように

したのが始まりとか。今から20年前のことだ。

「それを見た末広通り商店会と新宿要通り共栄会の会長さん二人が『街おこしのイベントとしてやってくれないか』って。今でこそ副都心線が開通して、この界隈には大勢の人が訪れますが、かつては寂しい通りで。イベントがあれば人が集まり、街がにぎわうはず。プレイヤーにとっても腕を披露できる絶好の機会と思えば、引き受けることにしました」

3つの商店会が手を取り合い、演奏場所を用意。プロアマ問わず、全国各地からプレイヤーを呼び、飲食店でのステージ演奏のほか、街頭演奏やブラスバンドパレードを行うことに。回を重ねるごとに演奏者は増え、その出演料には新

宿区の「にぎわいにあふれ環境にもやさしい商店街支援事業補助金」を活用した。

イベントを継続することで、街にも変化が見られるようになった。演奏時間に合わせて飲食店が営業したり、屋台を出す店も現れるなど、商店会の垣根を越えて、ジャズの街として一体感が増しているのだ。共同開催だからこそ、より広い「面」での効果が高まると言えよう。

「プレイヤーたちにとっても、このイベントは年に一度、顔を合わせる同窓会のようなもの」と永谷さん。街のにぎわいを創出するとともに、トラッドジャズを未来につなぐ聖地として、これからも「新宿トラッドジャズフェスティバル」を続けていくつもりだ。

Column

コロナ禍で疲弊した商店街を活性化、街のにぎわいを取り戻すために、イベントを企画する商店会は少なくない。だが、「資金面に不安がある」という声もよく聞かれる。そこでぜひ活用してもらいたいののが、新宿区の「にぎわいにあふれ環境にもやさしい商店街支援事業補助金」だ。商店会が実施するイベント事業の経費の一部を助成するというもので、具体的には、①集客力を高め、商店街のにぎわいを創出するイベント、②資源リサイクルまたは環境対策に資するイベント、③地域福祉、健康に資するイベント、④防犯防災や生活安全に資するイベントなどが該当する。活用次第では大きな効果が見込まれるだけに、詳しい内容を把握しておきたい。

イベントに活用したい 「にぎわい補助金」

詳しくはこちらから



Event Scene



来年のイベントのヒントがここに イベント アーカイブス

長い自粛期間を経て、今年は区内の各商店会で、イベントが多数開催。それぞれ個性豊かな企画で、街ににぎわいが生まれた。

5月 [May]

こどもげんき広場・ふれあい広場(9月)

若原共栄会



毎年5月、新生活がスタートした子どもたちに向けた「こどもげんき広場」と、9月の秋祭りシーズンに合わせて開催される「ふれあい広場」。子どもが元気に過ごせる街を、と願い始めた20年ほど続く恒例行事だ。コロナ禍でも人数制限やテイクアウトなどの工夫をして継続されていたが、今年は制限がなくなり一層のにぎわいを集めた。

6月 [June]

初夏の商店会プロレス・商店会プロレスフェスティバル(10月)

末広通り商店会



公道に立てられたリングの上でプロレスマッチが繰り広げられる商店会プロレスは、「狭いスペースで何かできないか」と商店会のアイデアからスタートしたイベント。8年目となる今年は6月と10月で計3日間にわたり開催された。地元住民のみならず、遠方からもファンが駆けつけ、路上でのプロレス観戦を大いに楽しんでいた。

8月 [August]

納涼盆踊り大会

新宿百人町明るい会商店街振興組合

3年ぶりの開催となった皆中稲荷神社の納涼盆踊り大会。商店会による手作りのゲーム企画や、多国籍な料理を楽しめる出店には人だかりができた。地元の小学生が運動会でも踊るお馴染みの「百人隊鉄砲音頭」や、恒例のちびっこゆかた祭り、子どもたちに大人気のゆるキャラ「同心くん」が登場するなど、子どもの歓声が響くイベントとなった。



10月 [October]

薬王寺商交まつり

薬王寺商交会

20年以上続く、地域で暮らす方と商店会を結び催し。コロナ禍での休止を乗り越え昨年より再開された。名物企画「焼きそば500食無料配布」は開始から3時間で品切れとなる大盛況ぶり。バザーや射的のほか、毎年豪華な賞品が用意される「大ビンゴ大会」、「若手芸人のお笑いライブ」、「牛込警察署の協力による防犯周知活動」を行い、来場客の笑顔が絶えない1日となった。



四谷大好き祭り

四谷二丁目発展会・四谷一栄会

今年で25年目となる“地域の文化祭”。さまざまな四谷の面白さを引き出すために3年に一度会場を変える工夫が光る。地域のお店による模擬店のほか、特設ステージでは大道芸やジャズバンドの演奏などさまざまなプログラムが盛りだくさんの、四谷愛にあふれる2日間となった。



かつおフェスタ

ワセダランド商店会

東日本大震災の被災地と早稲田の街を結ぶ地域活性イベントは、今年で12年目に。気仙沼の漁港からあがったその日に直送される新鮮なカツオの大試食会は、「こんなに新鮮なカツオは食べたことがない!」と大好評。気仙沼の海産物や田野畑村の乳製品など豪華景品が当たる大抽選会は長蛇の列となった。



アイランドのど自慢大会

新宿アイランド商業施設出店者会

新宿アイランドタワーのパティオ広場では恒例ののど自慢大会が開催された。アイランドタワーで働く方や、近隣のお店から60人近い参加者がエントリー。予選はカラオケの採点機能を活用し、上位10名が決勝戦へ進出。審査員の前で熱唱し、会場は大いににぎわった。入賞者3名への賞品のほか、参加賞として全員にお買い物券が贈呈された。



新宿アイランドイルミネーション2023 新宿アイランド商業施設出店者会

新宿東口商店街クリスマスイベント事業 新宿東口商店街振興組合

今年も イルミネーションが 商店街を明るく 照らします

クリスマスシーズンに、街を彩るイルミネーション。今年も区内複数の商店会で道行く人々の目を楽しませている。商店会の視点でも、来街者向上につながり、運営面でも負担が少なくメリットは多い。そして、このイルミネーション事業も「にぎわいにあふれ環境にもやさしい商店街支援事業補助金」の対象となる。ぜひ、活用を検討し、商店街を明るく演出してみたいかがだろうか。

新宿仲通り歳末イルミネーション
新宿仲通り商店会



第29回南門ストリート・フェスティバル
(第12回南門どかいち・イルミネーションプロジェクト)
早稲田大学南門通り商店会



つなぐ

早稲田大学南門通り商店会 キッチン南国

1973年の創業以来、
早稲田の学生街で愛されてきた繁盛店。

後継者としてバトンを渡されたのは
なんと同じ商店会の仲間の一人。
志でつながった事業承継の新しいかたちがある。



上) 揚げ物はフライヤーを利用するのが一般的だが、先代にならって天ぷら鍋を使用。「微妙な火加減の調節がようやくわかってきた」と石井さん。右) 先代が考案した、ボリューム満点の盛り合わせ定食メニュー。「海老フライ(2尾)・しょうが焼き」950円

信頼できる商店会仲間に すべてを託す

「キッチン南海」といえば、都内を中心に人気の老舗洋食店だ。本店で修業を積んだ料理人がのれん分けされて独立する開業方式で、早稲田の学生街には1973年に誕生した。それが「キッチン南海早稲田店」であり、オーナーは大根田新さん。23歳の若さで店を構えた。

「当時は学生相手の安い店が多くて。この街で生き残るにはみんなと同じじゃダメだと思い、大学の先生や職員さんなどをターゲットにしました。その分、食材にはこだわって、お米もランクの高いものを選んでみました」
この戦略が当たり。しょうが焼きと揚げ物を盛り合わせたセットメニューを考案したり、お盆にのせた定食スタイルで提供したりなど、本店にはない工夫を重ねて、

瞬く間に人気店に。

だが、体力の限界を感じ、大根田さんは店を畳むことを決意。創業50年を目前に控えた2022年9月のことだ。とはいえ、早大南門通りに面した店は大勢の大学関係者が行き交う絶好の場所だ。「キッチン南海」の看板に関係なく、ここで誰かに飲食店をやってもらえたら……。そう願っていたのは、この街の商店会会長も然り。街のにぎわいに欠かせない店を失いたくない。そこで白羽の矢が立った

現オーナー

石井直樹さん

前オーナー

大根田新さん



右) 久しぶりに顔を合わせた二人。師弟関係は「信頼」をベースに築かれている。下) 「キッチン南海」に敬意を払い、往年の姿を描いた絵が今なお飾られている



逸品を“つなぐ”



長年愛されてきた老舗の味

店を継ぐにあたり、石井さんは大根田さんに教えを請い、「キッチン南海」の料理をすべてマスター。「飲み込みが早いから、すぐにコツをつかんで、俺の味よりも上かもしれない(笑)」と大根田さんは太鼓判を押す。それを証明するかのようになり、料理人が変わっても、昔と変わらず「カツカレー(コース)」が人気ナンバーワン。なによりお客さんの半分以上が先代の頃から通ってくれた常連客だ。「まずは、先代の味をきちんと受け継ぐこと」と石井さん。二代目の覚悟が料理に表れる。

のが、同じ商店会の一員で、飲食店を経営していた石井直樹さんだ。「石井さんに初めて会ったのは7年前。商店会の新年会であいさつをしてくれたんだけど、すごく感じが良かった。その後、商店会の会合などで話すうちに気心も知れてきて。料理人としても信頼できると思い、声を掛けました」
突然の話に石井さんは驚いたが、慕っていた大根田さんの想いと、歴史ある場の継承には心惹かれた。しかも、場所だけでなく、「キッチン南海」のメニューもすべて譲ると言われ、即座に決心した。
「この場所で育まれ愛されてきたメニューを任せてもらえることが誇らしく、うれしかったんです」
話ほとんど拍子に進み、打診されてからわずか2カ月後の2022年11月28日に再び店はオープン。その名も「キッチン南国」だ。

「『南海』という名は本店で5年間の修業をしないと使えないんです。それに私は、ハワイアンカフェも経営していたので、『南国』にしました(笑)」と石井さん。当初は二足のわらじを考えたが、「キッチン南国」での商売があまりにも楽しく、ハワイアンカフェは売却。今は受け継いだ洋食店に専念する日々だ。南海から受け継いだメニューは、相変わらずの大人気。「石井さんが立派にやられているので、譲って本当に良かった」と大根田さんは感慨深げに話す。
志と信頼関係にもとづく、新しくて幸せな「つなぐ」カタチが、ここにはあった。

キッチン南国

新宿区戸塚町1-101
☎03-3208-2554
営業/11:00~15:00、
17:00~20:00
休み/日曜、祝日



2023
Winter

商店街 News

知っておきたい今冬のトピックス

12月から新たに、電気・ガス・ガソリン等の経費に対する【エネルギー価格高騰緊急対策支援】も開始します！

経営力強化支援事業補助金

対象者 中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条に規定する区内の中小企業者・個人事業主

申請期限

令和6年3月31日まで(消印有効)

内容 経営力強化につながる取り組みに対して、補助を行います。

お問い合わせ

産業振興課

03-5273-3554

申請方法 事後申請 ※補助対象事業の実施及び支払いまで完了した後、必要書類一式を揃えた上で郵送にて申請

詳しくはこちらから



補助対象	補助額	補助率
1 経営計画等策定支援 専門家による経営計画や販路拡大計画等の策定及びコンサルティングに係る経費 具体例 「コロナ禍や物価高騰の影響を受けた事業の立て直しについての相談がしたい」	合計 30万円 まで	10/10
2 補助金申請手続き支援 専門家による各種補助金及び給付金等の申請に係る経費 具体例 「補助金の申請に必要な事業計画書の作成を支援してほしい」		
3 販売促進・業態転換支援 広告費等の販売促進及び新分野への業態転換に係る経費 具体例 「新商品を宣伝するためのチラシ作成を外注したい」		
4 インバウンド対応支援 多言語化対応及び和式トイレの洋式化に係る経費 具体例 「外国人の方に分かるように、メニューや看板を多言語表示にしたい」		
5 IT・デジタル対応支援 業務効率化等のためのITの導入やデジタル化に係る経費 具体例 「POSレジを導入して、購買データを管理したい」	合計 80万円 まで	4/5
6 設備等購入支援 生産性向上及び省エネ等に資する設備等の購入に係る経費 具体例 「急速冷凍庫を導入して、作り立ての味を販売したい」		
7 展示会等出展支援 販路拡大のための展示会・見本市等への出展に係る経費 具体例 「販路拡大のため展示会に出展したい」		
8 エネルギー価格高騰緊急対策支援 事業用に使用した電気、都市ガス、LPガス、ガソリン、軽油、灯油、重油、オートガスの経費	20万円 まで	